

2020年

第36回 オジロワシ・オオワシ渡来状況調査結果

日本野鳥の会福井県 調査担当 小嶋 明男

- 1 目的 三方五湖に飛来するオジロワシ・オオワシの個体数と越冬期の生態の把握
- 2 調査日時 2020年2月2日(日) 8:30~12:30
- 3 天候 天気:くもり後晴れ 気温:5~8℃ 風:ほぼ無風
- 4 調査方法 三方湖・水月湖・菅湖の湖岸5定点と移動定点(3名)観察および無線連絡による追跡観察
- 5 調査結果

(1) 確認できた海ワシ オジロワシ1個体

(2) 確認できた海ワシの特徴

・オジロワシ成鳥♀

頭頸部は淡褐色、嘴は黄色・尾羽は白色

(3) 主な行動

- ・調査時間中、落葉広葉樹の太い枝に止まったままであった
- ・途中羽繕いと脱糞行動が見られた

(4) 行動範囲

- ・水月湖東岸「虹岳島」の西斜面で止まり継続

☆右の写真は、平城常雄氏 2020.1.24 撮影



6 観察された鳥類 計24科55種

カモ科/オカヨシガモ・ヨシガモ・ヒドリガモ・マガモ・カルガモ・ハシビロガモ・オナガガモ・コガモ・ホシハジロ・キンクロハジロ・スズガモ・ホオジロガモ・ミコアイサ・カワアイサ カイツブリ科/カイツブリ・カンムリカイツブリ・ハジロカイツブリ ウ科/カワウ サギ科/アオサギ・ダイサギ ツル科/タンチョウ クイナ科/オオバン カモメ科/カモメ・セグロカモメ ミサゴ科/ミサゴ タカ科/トビ・オジロワシ・ハイタカ・オオタカ・ノスリ・クマタカ カワセミ科/カワセミ キツツキ科/アオゲラ ハヤブサ科/ハヤブサ モズ科/モズ カラス科/カケス・ハシボソガラス・ハシブトガラス シジュウカラ科/ヤマガラ・シジュウカラ ヒヨドリ科/ヒヨドリ ウグイス科/ウグイス エナガ科/エナガ メジロ科/メジロ ヒタキ科/シロハラ・ツグミ・ルリビタキ・ジョウビタキ スズメ科/スズメ セキレイ科/セグロセキレイ アトリ科/アトリ・カワラヒワ・シメ ホオジロ科/ホオジロ・カシラダカ

7 観察された哺乳類 ニホンザル

8 調査者

鈴川文夫・横山大八・柳町邦光・酒井敬治・松村俊幸・長谷川祐一・村上公輝・村上千夏子・井尻雅巳・平城常雄・田川亨・吉田麻里子・武田真澄美・小嶋明男

9 今年のオジロワシの状況と最近の三方五湖の生息状況

- ・今年は、昨年より8日早い12月6日に成鳥1羽を初認、これで3年連続成鳥1羽の越冬となった。
- ・今年は三方湖だけでなく、水月湖、菅湖でも見られるようになり、久々子湖上空も行動範囲としている。
- ・オオワシは、2002年2月に飛去して以来途絶えている。

*同時に実施した観察会担当者

辻義次・堀孝敏・堀田高久・武田真澄美・小嶋明男

*調査終了後のオジロワシの行動(観察:吉田麻里子)

- 14:40 長尾島西尾根付近を北西に飛行
- 15:10 長尾島上空を旋回後、三方湖東部山の木に止まる
- 16:16 北方向に飛び、そのまま消失

